

## 青森の伝統工芸「津軽塗」にカトラリーレストが新登場！

～スプーン・フォーク・ナイフにお箸まで置けるロングサイズ～



赤上げ(赤)



呂上げ(黒)

## 和にも洋にも。テーブルコーディネート幅が広がる逸品

青森県の伝統工芸を取り入れて、新感覚のデザインやモノづくりを提案している津軽燈LABから、今までありそうでなかった津軽塗のカトラリーレストが7月に販売開始となりました。

幅15cmというロングサイズは、フォーク・ナイフ・スプーンだけでなく、お箸も余裕をもって置くことができます。赤上げ(赤)と呂上げ(黒)の2色展開です。

津軽塗の始まりは300年以上前にさかのぼります。一般的に広く知られるようになったきっかけは、1873年のウィーン万国博覧会に青森県が津軽塗を出展して、賞を受けたことといわれています。48の工程を経てようやく出来上がる津軽塗。同じ工程を何回も繰り返す馬鹿丁寧さから、「津軽のバカ塗」とも言われています。

2017年には国の重要無形文化財に津軽塗が指定され、今年9月1日には津軽塗が題材の映画「バカ塗りの娘」が全国公開となることから、ますます注目が高まっています。

monovaでは、カトラリーレストを手にとってご覧いただけます。そして映画公開に合わせて、9月1日～3日の3日間、津軽塗のワークショップを開催いたします。

## 津軽塗カトラリーレスト

価格： ¥5,280(税込)  
素材： ホワイトパイン材

サイズ： W150×D24×H12mm  
カラー： 呂上げ(黒) / 赤上げ(赤)

【津軽燈LAB】津軽燈LABは青森県弘前市に位置し、津軽の伝統工芸「津軽塗」「こぎん刺し」「あけび蔓細工」等、照明器具や小物に取り入れ、新感覚のデザイン・モノづくりを提案しています。代表の高橋武敏氏は、テディベア作家としても活動しており、2017年テディベアコンベンションで銅賞<カテゴリーD>を受賞しています。

■ <https://tsugaru-akarilab.jimdofree.com>

有限会社ミマツ工芸 主催  
スギ材のデザインプロダクト～MIMATSU CRAFT～

2023年8月22日（火）～2023年9月18日（月）

佐賀県・諸富家具産地からミマツ工芸によるスギ材のデザインプロダクトをご紹介します



川を挟んで隣接する福岡県大川地区と同じく家具産地として知られる佐賀県、諸富。この地で1972年から木工家具の部品づくりをしてきたミマツ工芸は、2008年に入ってから手掛けてきたオリジナル製品をブラッシュアップし、現在は地元佐賀県産材のスギ材に着目した優しくて美しい製品を作り出しています。

スギ材という日本人にとって慣れ親しんだ木材を使い、年輪の特徴を活かした製品の数々は、どこか懐かしくも新しい表情をしています。インテリアにナチュラルを一つ。自分の目に見える場所に置いておきたくなるスギ材のアイテムです。これまで首都圏では、見本市などのほか数回の短期催事でのみでご覧いただけましたが、今回はmonovaにて、約1ヶ月のご紹介となります。是非、ご来場ください。

【有限会社ミマツ工芸】

1972年に佐賀県に創業。現在は、吉野ヶ里遺跡にほど近い工房で、木工による家具部品などの製造を行う。2008年から、オリジナルブランド「M.SCOOP」をスタート。携帯電話やメガネ、ペンなどのデスク周りのデザインスタンドを展開。2018年、スギ材を使ったブランド「NENRIN」をスタート。NENRINは、JAPAN WOOD DESIGN賞入賞のほか、Lexusコレクション2020～2023に選定される。2021年には自社工場併設のショップをオープン。木の美しいカタチを追求し続けている。



スギ材のデザインプロダクト～MIMATSU CRAFT～

<開催概要>

日 時：2023年8月22日（火）～9月18日（月・祝）

10:30～18:30（水曜日休館）

場 所：monova（東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー5階）

津軽燈LAB・monova主催  
津軽塗の Spoon とマグネットのワークショップを開催！  
2023年9月1日（金）～ 2023年9月3日（日）

青森県の伝統的工芸品「津軽塗」を施したユニークな商品を展開している「津軽燈LAB」の代表、高橋武敏氏による 3日間のワークショップです

### 大好評の津軽塗体験、第3弾！

今年1月と4月に開催して、大好評の津軽塗ワークショップ。第3弾として今回は、大人の方向けにスプーンづくり、お子様向けにマグネットづくりのワークショップを行います。

津軽塗の工程は数多く、延べ48工程にも及びます。そのうち、津軽塗の独特の模様を作り出す「荒研ぎ」という工程を体験していただきます。

紙ヤスリを使って、用意されたスプーンやマグネットを水研ぎしていきます。お子様も楽しく作業していただけます。作業が終わりましたら、青森にて津軽塗の職人の手による「艶つけ」という作業に移行します。完成したものは、参加された皆様の元へ後日お届けいたします。

体験を通して、モノづくりの背景や文化・歴史などを学んでいただきながら、「ものを大切に作る心」も一緒に育てていけたらと思います。皆様お誘い合わせの上、是非ご参加ください。



【津軽塗マグネットイメージ】



【津軽塗体験イメージ】

#### 津軽塗の Spoon とマグネットのワークショップ

##### <開催概要>

日 時：2023年9月1日（金）

※スプーン：大人対象

①14:00～ ②15:30～ ③17:00～

2023年9月2日（土）・3日（日）

※マグネット：子供対象（小学3年生～）

①11:00～ ②13:30～ ③14:30～ ④15:30～ ⑤16:30～

場 所：monova（東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー5階）

定 員：各回4名

参 加 費：スプーン 3,500円、マグネット 2,000円

※材料費・職人による仕上・配送料・消費税込の金額です。

所要時間：約30分

主 催：津軽燈LAB・monova

##### 【事前申込方法】

お名前・ご住所・電話番号・メールアドレス・参加希望日及び希望時間を明記の上、メールにてお申込みください。monova受付でも申込可能です。

申込先メールアドレス：[info@monova-web.jp](mailto:info@monova-web.jp)

※メールの場合、件名に「ワークショップ申込み」とお入れください。

【津軽燈LAB】津軽燈LABは青森県弘前市に位置し、津軽の伝統工芸「津軽塗」・「こぎん刺し」・「あけび蔓細工」等、照明器具や小物に取り入れ、新感覚のデザイン・モノづくりを提案しています。代表の高橋武敏氏は、ティディベア作家としても活動しており、2017年ティディベアコンベンションで銅賞<カテゴリーD>を受賞しています。

■ <https://tsugaru-akarilab.jimdofree.com>



有限会社 桂雛・monova 主催  
オリジナル雛人形もオーダー可能な「雛人形スペシャル相談会」開催！  
2023年10月28日（土）～ 2023年10月29日（日）



京十番親王「川島織物:狩猟文錦」



京十番親王「FISBA:poem」 ※monova オーダー雛人形

### 感受性を育む桂雛の“伝統とモダンの雛人形”

1926年(昭和元年)に創業した「桂雛」(かつらびな)。分業制で作られる雛人形が主流の今でも、桂雛では伝統を受け継ぎながら、一貫した手作りが続けられています。素材から吟味し、色や柄をこだわり抜いて、手間や技術を惜しみなく注いで作られた雛人形からは、日本の伝統美が自然と感じられ、「本物に触れて育てほしい」と願う方々からも選ばれています。

生産数が限られるため、販売拠点はごくわずかです。東京でご覧いただけるのは、monovaを含めて2～3箇所のみ。今回は特別に、桂雛の代表であり職人でもある小佐畑孝雄氏へ直接ご相談可能な「スペシャル相談会」を開催いたします。

また、今回はオリジナル雛人形のオーダーも可能です。ご自身のための雛人形を探されている大人の方にもおすすめです。生地や色・柄だけでなく、顔の表情までご自身で選んでいただける「自分だけの雛人形」を作ってみませんか。monovaでは、小佐畑孝雄氏とmonovaとのコラボレーションによるオーダー雛人形も実際にご覧いただけます。非常に貴重な機会となりますので、この機会にぜひご相談ください。

#### 雛人形スペシャル相談会

##### <開催概要>

開催日時：各回60分程度 \*完全予約制

2023年10月28日(土) ①13:00～ / ②15:00～ / ③17:00～

2023年10月29日(日) ④10:45～ / ⑤13:30～ / ⑥15:30～

定員：各回1組限定

会場：monova (参加無料)

場所：東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー5階

主催：有限会社桂雛・monova



小佐畑 孝雄氏  
(有限会社 桂雛 代表/職人)

【有限会社桂雛】茨城県が誇る伝統工芸品「桂雛」。現在は三代目となる小佐畑孝雄氏は、初代から続く伝統を守るだけでなく、「結城紬」や「西ノ内和紙」などの地元産品を積極的に活用し、芸術性を追求しながら披露の場を広げています。希望の生地で衣装を仕立てるオーダー品の制作などにも取り組み、桂雛の継承に力を注ぎます。

■ <http://www.katsurabina.jp/index.html>

■ <http://takaokosahata.jp/>